



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第20号

2021年8月24日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

わくわく算数・数学教室 3日目（24日）

8月24日、「わくわく算数教室」3日目です。今日もたくさんのSPさんたちが来てくれました。ウィークリーSPさんや今まで参加してくれたSPさんも多く、控室である図書室も朝から和やかな空気に包まれていました。「同じ大学の先輩と話したら、すごく勉強になりました！いろいろなことを教えてもらいました！」と楽しそうに話してくれるSPさんもいました。違う学年、違う大学の人と話す機会。現在はコロナウイルスの影響でこうした人と出会う機会がめっきり



少なくなってしまっています。せっかくのチャンス！ぜひ席が近くの人や一緒に準備をしている人に勇気を持って話しかけてみてください。この「わくわく算数教室」に来てくれるSPさんは、どのSPさんも本当に良い方ばかりです。明るくて、優しく、穏やかで、高い志をみんな持っています。そんなSPさんたちと話すのが、私も毎回とても楽しみです。SPさんたちと話しているとエネルギーをもらえます。もっと頑張ろう！と思えます。SPさんたちのパワー、すごいです。



写真を見ていただくと分かるように、子どもたちも、SPさんも、すごく“前のめり”。勉強に対する前向きな気持ちが伝わってきます。SPさんの熱意が、アイデアが、ポジティブな言葉かけが、子どもたちに伝わります。だから、子どもたちもやる気になります。時間が経つにつれ、どんどん集中力が増します。何度も言いますが、夏休みに、子どもが自主的に勉強をしに学校に来ること自体がすごいことです。さらに、このわくわく算数教室では、ものすごいやる気で子どもたちが算数を勉強しています。どんどん集中が増すこの光景。すごい現場に立ち会うことができます。



“笑顔”、これがわくわく算数教室です。素敵なお光景です。SPさんたちの笑顔の力は絶大です。最高の笑顔です。教員になってからも、この“笑顔の力”を忘れないでほしいなあと思います。

SPさんたちが笑顔だから、算数教室が楽しいから、話を聞いて寄り添ってくれるから、子どもたちもこんなに良い笑顔を浮かべていました。たくさんの子どもの笑顔が、算数教室にはあります。小学校の先生方も、「普段あんなに楽しそうに勉強している姿、見たことない。すごい。これがSPさんたちの力なんだ」と驚いていらっしゃいました。

Aくん「もうやりたくないーい！」土井SP「そっか～、やりたくないんだね」、この後、SPさんは何も言いません。すると数秒後、Aくんは少し考えながら、「でも、やろうかな」と呟いて、勉強の続きをしていました。この会話、実際に聞いていた時、「すごいな……」と感心してしまいました。「なんでやりたくないんだ！」「早くやりなさい！」などではなく、「そっか～」と“まず受け入れて”くれていました。受け入れることの大切さを、私も改めて実感しました。ただ「やりなさい」ではなく、まずは“受け入れる”、これもテクニックの一つだと思います。このSPさんはウィークリーSPさんです。さすがウィークリー！



乾SP「よし、行こう！」と言って、子どもと一緒に席を立って何かしていました。「何してるの？」と聞いてみたら、「(担当している児童)2人とも、プリントがよく出来ていたので、今度は実際に動いて数を数えて集計する勉強をしています。」思いつきません、こんなアイデア。最初は恐る恐るだった子どもたちも、乾SPに背中を押してもらい、最後には伸び伸びと、自分たちで動いて数を数えていました。



片葩小の先生方も算数教室を見に来てくださいました。「いつもゴソゴソ動いている子が、あんなに集中してる」「あの笑顔、素敵だね」「SPさんたち、なんて穏やかに接してくれているのだろう」など、どの先生がたも嬉しそうに子どもたちとSPさんたちの様子を見ながら話してくださいました。SPさんたちを大絶賛されていました。「明日は自分のクラスの子が来るから、また見に来ます」とも仰ってくださいました。参加する子どもたちの嬉しそうな顔は必見です。また、学生時代にSPとして活動していた先生（シニアSP）も見に来ていました。「このSP活動をやるかやらないかで、価値観が大きく変わる。現場を知れることは本当に大きい。絶対、良い。もっともっとたくさんの大学生にこの活動に参加して欲しい。実感して欲しい」と話してくれました。現場に出たシニアSPたち（現役教員）はみんな、同じことを言っています。SPの経験は必ず役に立つ！とどのシニアSPも太鼓判を押しています。

シニアSPの一人が毎年活動を見に来て、動画を作っています。映像と音楽の力はすごいです。ダイレクトに伝わります。動画を見て、みなさんはどう感じたでしょうか？嬉しいな、楽しかったな、そう思うSPさんも多いと思います。こういった動画も、学級経営で役立っているそうです。子どもたちへの伝え方の一つのツールとして有効な手段だと思います。まだ観られていないSPさん、ぜひ見てみてください。



今日は午後から神谷町長もわくわく算数教室の様子を見に来ていました。毎年この活動を見て、「もっと広げていきたい」と話をされています。まさに“町全体”で取り組んでいる活動です。子どもからも、大人からも信頼の厚い活動です。ここまでたくさんの人のサポートがある学生ボランティア、そうそうないはずです。だからこそ「学生満足度 No.1」と言われているのでしょう。

明日もたくさんのSPさんが来てくれます。コロナ禍の中、感染症対策もしなければならないので、「苦しい・暑い・しんどい」瞬間もたくさんあると思います。しかし、しっかりと徹底してくれています。そして、子どもたちにも「マスク、もう少し上にあげようか」「消毒した？」などと声をかけて、教室全体で“コロナに負けない”という意識で取り組んでくれています。とても有り難いことです。ありがとうございます。

明日で算数教室も4日目になります。4日目でも、わくわくしています。明日もよろしくお祈りします。